

No.22	踏み出し		
氏名	坪山 智香	生命科学部	2回生
1. 出願時のテーマ・目標を具体的に記述してください。			
<p>テーマ：農業と若者の距離を縮めるために、より農業に関心を持ってもらう場としてファーマーズマーケットを提供する。目的：高齢化や少子化などで衰退している農業を盛り上げる。若者が普段の生活で触れ合うことのない農業を身近に感じてもらうことで、農業に興味をもってもらう。農業に興味がある若者には、より農業への関心を高める場・その関心を実行に移す機会を提供する。</p>			
2. 上述のテーマ・目標を実現するために実施した計画を具体的に記述してください。			
<p>2020年4～6月：農業についての勉強に励む、7月：オンラインファーマーズマーケットの構想を練る(配送方法や対象、開催時間など周囲にアドバイスをもらった)・農家用資料の作成、8月：出店してもらう農家に連絡を取り始める。9月：農家側に意見をもらいながらオンラインファーマーズマーケットの計画をより密なものにしていく。10月初旬～中旬：広報用チラシ・HPなどを作成・草津市から本企画の後援をいただく、10月下旬：広報・参加者募集開始、11月初旬～中旬：農家とリハーサル・出店物の確定、11月28日15:00～17:00：オンラインファーマーズマーケット開催、11月29日：オンラインファーマーズマーケット反省会、12月初旬：第2回オンラインファーマーズマーケットに向けて新たな構想を練る、12月中旬：第2回に参加してもらう農家と連絡を取り始める。12月下旬：農家用資料を作成、2021年1月初旬：広報用チラシ作成、1月中旬～下旬：広報・参加者募集開始、2月初旬～中旬：農家とリハーサル、2月20日10:00～12:00：オンラインファーマーズマーケット第2回開催</p>			
5. 今回（今年度）の取り組みについて、今後の活動展開と展望を記述してください。			
<p>今後も定期的にオンラインファーマーズマーケットを開催し、農家と若者が交流できる場を提供し続ける。ただ同じことを繰り返すのではなく、輸送方法や農家と参加者の交流の仕方、時間など改善点が多くあるため、それらを改善しながらオンラインファーマーズマーケットを開催・継続していきたい。また、農業に関するオンラインセミナーを開催することや農家とより会話ができる場を提供したいと考えている。さらに今回の取り組みを通して、農作物の調理法や参加農家への農業体験を希望する人が多数いたため、それらをまとめてSNSやnoteなどを用いて発信していきたい。</p>			
6. 今回（今年度）の取り組みは、今後の学びや進路にどのように影響しますか。			
<p>困難な状況においても諦めずに解決策を導く経験ができたため、今後同じ状況に出会ったとしても新たな方法を模索していくことができると考える。また、計画を立てる力やそれを実行する力も今回の取り組みで身についたと感じているため、将来の就職活動やその先でも役立てることができると感じている。さらに、周囲に自分の考えを伝える場面が多かったため、アイデアを相手にわかりやすいように伝える力も身についたと考える。今回の取り組みを通して、計画力や行動力、発信力が身に付き、周囲の力も借りながら自分の力で行動することができるようになった。このことは、今後の勉学への姿勢や就職活動にも生かすことができると考える。</p>			
7. 今回（今年度）の活動が周囲に与えた影響（社会・周囲）への貢献・還元の点で記述してください。			
<p>農家と若者が交流し、若者がコロナウイルスにより外出が困難な状況でも農業を身近に感じることができたと思う。時間が限られている学生は、対面活動ではなかなか農家と直接交流する機会を得るのが難しいが、オンラインでの企画だったため自宅から簡単に参加でき、普段交流することのない農家と交流し、新たな知見を得られたと考えている。また、コロナウイルスの影響により収入が減少している農家には、新たな販路を提供できた。さらに当初の目標とは異なるが、参加者から、生産者の顔を見て商品を購入できること、ZOOMでも実際の商品を見て野菜を選択できることが安心感にも繋がったという意見をいただいた。</p>			

3. 個人の成長の軌跡3-1. 取り組みの過程でどのようなことがあったのか、グラフを作成してください。	
<p>採用前</p> <p>採用</p> <p>現在</p> <p>モチベーション</p> <p>自分自身がやりたいことを見つけ、挑戦したいと思った。その為に、本奨学金に応募した。</p> <p>面接官の方々に自分の考えが面白いと認めてもらえたため、モチベーションが急上昇した。</p> <p>外出を伴う計画だったため、予定通りに全く行動できず、何をすればいいのか戸惑っていた。</p> <p>中間交流会で周囲も同じ悩みを持つことに気付いた。そしてお互いが今できることのアプローチを見つけた。</p> <p>第1回オンラインファーマーズマーケットを開催した。オンラインでも農家と交流出来る場を作ることが出来た。</p> <p>第1回の反省から輸送方法などを見直し、第2回開催への準備を進めた。</p> <p>第2回オンラインファーマーズマーケットを実施した。第1回よりも多くの学生が参加したため、農業を身近に感じてもらうという目標を達成できた。</p>	
3-2. グラフで書いた☆（個人がもっとも成長したと思うポイント）では、その過程で学んだこと、気づいたことについて具体的に書いてください。	
<p>対面活動ができなくても、オンラインを活用することで、代替案を生み出すことができることを実感した。オンラインファーマーズマーケットを開催するにあたって、多くの人から意見をもらい、計画を修正し続けていたが、それが成功に繋がった。そこから、周囲の人々に相談することで自分では見えなかった課題点が見つかること、そして新たな考えや構想が得られることに気が付いた。どうすればいいかわからないときこそ周囲に相談して意見を求めることで、自分では生み出せなかったアイデアを得ることができ、新たな方法を見出すことができると強く実感した。また、学生は時間が限られている人が多いので、自宅で気軽に簡単に参加できるオンラインでの開催は大きなメリットであると学んだ。</p>	
3-3. “今回（今年度）の取り組み”と“正課の学びや取り組み”は、どのような関連や影響（相互作用）がありましたか？	
<p>正課授業でのZOOMの使い方やオンラインの活用方法などを模倣して、今回の企画に取り入れた。オンライン機能の使い方という面において、正課授業では得られるものが多くあった。正課授業で環境問題について学ぶ機会があったが、実際に農家から農業の実態について話を聞き、授業で学んだことをより身近に感じることができた。そこからより深く学びたいという意欲が湧き、授業への関心が高まった。</p>	
4. 本奨学金を受給したことで、以下の項目についてどのような影響を与えたか5段階で評価してください。（該当ナンバーに○） また、併せて評価の理由も書いてください。評価例：【 1（達成できなかった） ← 3（どちらともいえない） → 5（達成できた） 】	
① 目標の達成度	5
<理由>「農業と若者の距離を縮めるために、より農業に関心を持ってもらう場としてファーマーズマーケットを提供する。」という目標通り、2回もファーマーズマーケットを開催することができた。	
② 計画の達成度	4
<理由>ファーマーズマーケットは2回提供できたものの、当初予定していた農業体験に参加できなかったため5ではなく4とした。	
③ 取り組みを通じた自己成長	4
<理由>予定通りにいかなかったときに周囲の人々の力を借りて代替案を生み出し、それを実行できたことがこれまでの経験になかったため、今回の取り組みで新しい経験をすることができた。またそれが、企画の実行・成功に繋がりが自分自身の成長に繋がった。	
10. 今年度の取り組みを通じて最も身についたと思う力について、具体的に記載してください。9の設問で回答した力でも、それ以外でも構いません。	
① 身についた力	達成力
② ①で記述した力について具体的に説明してください	<p>コロナウイルスにより自由に外出することや外でのイベントを開催することが困難な状況でも、オンライン機能を活用してイベントを2回実施し、当初の目標であった「農家と若者の距離を縮めるためのファーマーズマーケットを開催すること」を達成できた。</p>
③ なぜその力を身につけることが出来たのか、成長を手助け・促進させた要因を記載してください	<p>中間交流会による他の受給者との意見交流や周囲の人のアドバイスにより、ZOOMなどのオンライン機能の活用方法を学んだことで、対面活動の代替案を見出すことができたため。</p>